

業連だより

2月8日、業務連絡会議が開催された。富澤理事長が挨拶に立たれ、「将来検討に関して、公益法人としての立場と同窓会的な意義の折り合いについて両極端な意見があるかもしれないが、一度立ち留まってバランスを取る方策を考へること」と、「歴史は過去を学び、現在を分析し、将来を洞察するものであり、安全保障と近現代史の交流（融合）について考へて欲しい」の2点を要望された。

小柳専務理事の進行で、議案の審議に入った。第1号議案「平成30年度公益法人偕行社事業報告書（第2次案）」について廣瀬総務委員長から、第2号議案「平成30年度公益法人偕行社収支予算書（第2次案）」について林財務委員長から、それぞれ説明があり、協議に入った。

入会促進に関して、一部修正があったものの、了承され、次回の理事會に諮られることになった。

続いて報告事項に入り、白石副理事長から「将来検討委員会の検討状況」について報告があった。

昨年7月以来検討してきた結果について、「今後の将来体制を進める上での基本的事項」と、「今後検討する課題」が報告され、理事会の承

認を得て3月の臨時評議員會に報告することとなった。

なお、「今後検討する課題」については適宜報告を行い、意見を伺いながら進めていくとの説明があった。

厚生委員長から、2月18日（日）に開催される「いざ歌はん哉」の紹介と参加要請があった。

若木事務局長から、昨年12月25日に、陸士56期生會が靖國神社から感謝状を受賞されたこと、防衛大学校学生の偕行社訪問（2月16日）の実施計画について報告があった。

各委員長報告では、2月17日（土）の近現代史シンポジウムの開催、3月13日（火）の安全保障シンポジウムの開催、及び4月1日（日）の第7回軍馬・軍犬・軍鳩合同慰霊祭の開催について報告があった。

次いで事務局から、千葉県偕行會憲法研究会の「第五次憲法試案」の紹介があり、希望者に配布された。各委員会の委員委嘱状の調査、伝達について依頼があった。

最後に2月8日（木）18時から衆議院第1議員會館で開催される「朝日・グレンデール訴訟」（慰安婦像問題）特別報告會の案内があった。代表が百地章氏、登壇者はケントギルバード氏、高橋史郎氏、大高季貴氏、山岡鉄秀氏である。